

LEOPOLD

FC980MBT JIS Layout Japanese Version

取扱説明書

この度は、LEOPOLD FC980MBT 日本配列モデルをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用いただき前に、必ず本書の内容をご一読、ご確認いただきますようお願い致します。
本紙に記載された内容は製品やOS のバージョンによって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性がございますが、付属品については
本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。他社登録商標/ 商標をはじめ、本紙に記載
されている会社名、システム名、品名は一般的に各社の登録商標または商標です。



1. 安全上のご注意 (必ずお守りください)	・・・ 2～3ページ
2. キーボードを使用する上でのご注意	・・・ 4ページ
3. 無線に関する注意事項	・・・ 4ページ
4. Bluetooth のペアリング / 接続に関する注意事項	・・・ 5ページ
5. 本製品の特徴	・・・ 6ページ
6. ご使用いただく前に	・・・ 6ページ
7. 製品内容	・・・ 7ページ
8. キーボードの接続方法	・・・ 7～9ページ
9. ペアリング情報の初期化	・・・ 10ページ
10. キーボードの省電力モードについて	・・・ 10ページ
11.USB 有線モードへの切り替え	・・・ 10ページ
12.LED インジケータの動作	・・・ 11ページ
13.DIP スイッチの設定	・・・ 12ページ
14. Fn キーとの合わせ押し / DIP2 スイッチ ON 時の動作	・・・ 13ページ
15. 製品仕様	・・・ 14ページ
16. 製品サポートについて	・・・ 14ページ
17. 製品 FAQ について	・・・ 14ページ
18. 保証規定について	・・・ 15ページ
付録	・・・ 15～17ページ

1. 安全上のご注意 【必ずお守りください】

⚠ 危険 死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

⚠ 警告 死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

⚠ 注意 軽傷を負う事や物的損害が発生する恐れがある内容です。

⚠ 気を付けて頂きたい「注意喚起」の内容です

🚫 してはいけない「禁止」の内容です

🛑 必ず実行して頂く「強制」の内容です

● **免責事項**

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、
 その他製品の不具合によって受けられた損害については、法令上の
 賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

1. 安全上のご注意【必ずお守りください】（続き）

⚠ 危険

- ⓧ ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。破裂や発火の原因となります。
- ⓧ ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用・保管をしないでください。破裂や、発火の原因となります。
- ⓧ ・本製品の分解、改造を行わないでください。発熱、破裂、発火、火傷、感電の原因となります。また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ⓧ ・各種端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火、火傷の原因となります。

⚠ 警告

- ⓧ ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、すぐに取り外して全てのケーブル類を抜き、一旦使用をやめてください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⓧ ・本製品の使用中に煙が出たり、異臭、異音、異常な発熱をした場合は、すぐにケーブル類を取り外して使用をおやめください。そのまま使用を続けるとショートや発熱、感電等の原因となります。
- ⓧ ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ⓧ ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ⓧ ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- ⓧ ・小さなお子様の手が届く場所に本製品を設置、または放置しないでください。
- ⓧ ・プラグやコネクタやその周辺にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ⓧ ・ケーブルに負荷をかけたり、無理な力で巻いたりしないでください。
- ⓧ ・製品やケーブルを加工したり、傷つけたりしないでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルは根元までしっかりと差し込んでください。
- ⚠ ・各種コネクタやケーブルを挿したまま持ち運ばないでください。

⚠ 注意

- ⚠ ・静電気による破損を防ぐ為、本製品に触れる前に体の静電気を取り除いてください。本製品の破損、または接続機器のデータが消失する可能性があります。
- ⚠ ・動作環境内でご使用ください。機能低下、発熱等の原因となります。
- ⓧ ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。感電や火災の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 漏電等を引き起こす、水や水場の近辺
- ⓧ ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ⚠ ・本製品を熱がこもる状態で使用しないでください。
- ⓧ ・コネクタやケーブルは接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ⓧ ・使用中は熱を持ちます、低温火傷の原因となりますので長時間触れないでください。
※異常な発熱をした場合はすぐに使用をやめてください。

2. キーボードを使用する上でのご注意

●健康に関するご注意

キーボードを長時間使用すると、身体に障害を生じる可能性があります。長時間の使用は、手や腕、首、肩、背中、腰などに負担をかけます。不快感、疲労感、痛み、しびれ、筋肉の硬直などの症状が生じた場合は、直ちにキーボードの使用を中止し、十分な休息をとってください。このような身体的な症状は、キーボードを使用していないときに起こる場合があります。使用する際は、長時間の操作は避け、定期的に十分な休息をとってください。

●安全に関するご注意

キーボードの落下事故を防ぐため、設置場所は平らな場所を選んでください。キーボードは内部には電気回路と電子部品を搭載し、変圧装置を搭載した精密機器です。飲み物や液体がかかったしまうなど理由で、異物などが内部に入り込まないようにご注意ください。万が一、液体物や異物が侵入した場合は、直ちにご使用を停止してください。

●分解しないでください

キーボードを勝手に分解、修理、改造しないでください。感電したり、手を切ったりする恐れがあります。お客様による製品の分解や修理、改造の痕跡が見られた場合、無償修保証期間中であっても無償修理の対象外となり、カスタマーサービスを受けることはできません。
(*詳しくは当社ホームページの保証規定をご確認ください。)

3. 無線に関する注意事項

- ・本製品は 2.4GHz 帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能となります。電波方式は GFSK 方式で、干渉距離は10m。2.4GHz 帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n 規格の無線LAN 機器などでも使用されています。
 - 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局*」が運用されていないか確認してください。
 - 万一、本製品と「他の無線局*」との間に電波干渉が発生した際は、使用場所を変更するか、本製品の使用を停止してください。

*「他の無線局」とは、2.4GHz 帯を使用する産業・科学・医療機器、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

- ・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- ・次の場所では、本製品を使用しないでください。
 - 電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところ
 - 同じ周波数の電波を使用しているものの近く
- ・本製品は、工事設計認証を受けています。以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造や、本製品の認証ラベルを剥がすこと。

4. Bluetooth のペアリング / 接続に関する注意事項

- ・パソコンのOSバージョンアップや定期的なアップデート等の後に、OS側の仕様でペアリング情報が消去される場合があります。以前のペアリング情報を削除し、パソコンやタブレット等の再起動を行った後に、ペアリング作業を再度やり直してください。
- ・外付けのBluetooth受信機（USB dongle型）を使って、本製品とのペアリング/接続を行う際は、USB2.0ポートへdongleを接続してください。USB3.0ポートへ接続すると、電波干渉が発生し、接続が不安定になる、接続できないなどの問題が発生する場合があります。
- ・接続先のパソコンと本製品の間、遮蔽物、特に磁性体（鉄の机など）がある場合、接続が不安定になる^(*)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。接続機器と本製品の間、できる限り遮蔽物は置かずに使用してください。また、電子レンジ付近の磁場や静電気、電波障害が発生するところや、同じ周波数の電波を使用しているものの近くでは、周囲の環境により、接続が不安定になる^(*)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。
- ・接続先のパソコン等が、Wi-Fiの2.4GHz帯を利用している場合も、混線が発生して、接続が不安定になる^(*)、接続できないなどの問題が発生する場合があります。一旦接続機器のWi-FiをOFFにするか、5 GHz帯など他の周波数帯での接続に切り替えてください。
- ・Windows/パソコンの場合、再起動した際、使用可能だった本製品が突然動作しなくなったり、意図せずに接続がされたり、再接続できなくなったりする場合があります。その場合は、OS側で“Bluetoothの省電力設定”をOFFにしたり、外付けのBluetooth受信機（USB dongle型）を使用している場合は、OS側の“高速スタートアップ”や“USBのセレクトティブサスペンド”を無効にしてください。
- ・電波干渉が発生して接続が不安定^(*)な場合や、電池の残量が少なくなり動作が不安定な場合は、下記の方法をお試しください。
 - 使用している外付けのBluetooth受信機（USB dongle型）の設定をOS側（または受信機の専用ソフト）で変更
 - USB接続の受信機（dongle）自体を別のものに交換
 - 他のBluetooth機器の使用一旦中止/一緒に使用しない
 - Wi-Fiを2.4GHz帯以外に切り替える
 - 電池を新品に交換する

* USB有線接続モードで同様の事象が発生しない場合は、上記のいずれかが原因です。

(*1) …接続が不安定になった場合の事象例

- ・文字が入力され続けて止まらない
- ・入力の1文字目が入力されない
- ・一度しか押していないキーが何も押したようになる（有線接続では発生しない）
- ・入力遅延が入力大きい etc...

5. ご使用いただく前に

CHERRYスイッチに関して

- ・各CHERRYスイッチの押下荷重特性には、 $\pm 10\sim 15\text{g}$ の交差があり、これらはスイッチメーカーが仕様書で公表している数値です。また、打鍵音や触感にも個体差があります。これら個体差は、不良・不具合には該当しません。詳細は、保証規定をご参照ください。
- ・CHERRYスイッチは、防水仕様ではありません、飲み物などの液体がかかったり、内部に侵入すると、基板やICなどの電子部品が不具合を引き起こすだけでなく、スイッチ自体も故障して、使用できなくなります。
液体がかかったり内部侵入しないように注意してください。
- ・CHERRYスイッチは、防塵仕様ではありません。スイッチ内部には、金属接点があり、ゴミやホコリ、汚れなどが侵入・付着すると、2重入力（チャタリング）等の入力誤作動を起こします。エアダスター、ブロアーなどを使用し、定期的に掃除を行なってください。特に、喫煙環境下でご使用になりますと、タバコのヤニが接点に付着したり、タバコの灰がスイッチに侵入して、入力誤作動を起こしやすくなります。

キースイッチホットスワップについて

本製品は、キースイッチ自体が抜き差し/交換できる“キースイッチホットスワップ”に対応しています。スイッチ交換下記の場合すること自体は、禁止しておりませんが、スイッチ交換に付随する下記の事象については、保証対象外です。キースイッチの交換時は十分ご注意ください。

- ①キースイッチ交換に伴う、元々装着されていたキースイッチ自体の故障や物理破損（ピン折れなど）
- ②キースイッチ交換に伴う、キーキャップ物理の紛失、物理破損
- ③キースイッチ交換に伴う、キーボードの基板や基板実装された電子部品の物理破損

OS側にハードウェアキーボードレイアウトの設定について

本製品は、日本語JIS配列キーボードです。

現在までお使いだったキーボード（ノートパソコンをお使いの場合、パソコン内蔵されたキーボード）が英語US配列キーボードなどをお使いの場合、OS側の設定変更が必要です。事前に必ずご確認ください。（*弊社ホームページの“よくある質問”をご参照ください。）

6. 製品内容

- ・ FC980MBT キーボード本体 ... 1台
- ・ USBケーブル（USB-C→USB-A）... 1本
- ・ 試供用単4乾電池... 2本（1セット）
- ・ キーキャップ引き抜き工具 ... 1本
- ・ アクセサリーキーキャップ一式 ... 合計9個

1.25Uサイズ/R1 CapsLock *1個	DIP1番ON時使用
1.75Uサイズ/R2 Ctrlディンプル *1個	

1Uサイズ/R1 Optキー *1個	DIP2番ON時使用
1.25Uサイズ/R1 Cmdキー *2個	
1.25Uサイズ/R1 Optキー *1個	
1Uサイズ/R1 Eisuキー *1個	
1Uサイズ/R1 Kanaキー *1個	

1.25Uサイズ/R1 APP(メニュー) キー *1個	DIP3番ON時使用
------------------------------	------------

- ・ 保証書カード（取扱説明書WebリンクQRコード記載）... 1部

注意

ご使用前に、内容物が全て揃っていることをご確認ください。
梱包には万全を期しておりますが、万が一不足品などがございましたら当社サポート窓口までご連絡ください。

7. キーボードの接続方法

+ 有線接続する場合 (USB有線接続モード)

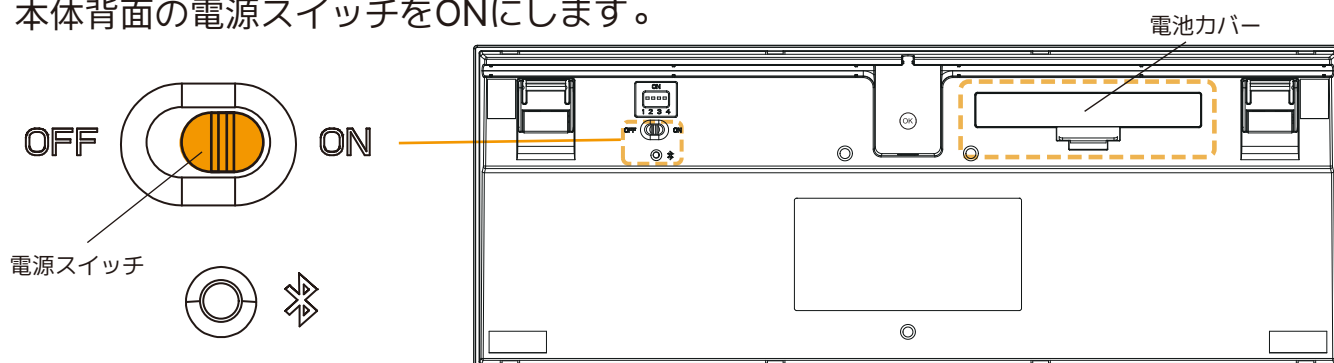
- 1 付属のケーブルのUSBコネクタをキーボードのUSBポートに挿し込み、もう一端のUSBコネクタをパソコン側のUSBポートへ挿し込みます。
- 2 パソコンが自動的にキーボードを認識します。
(*お使いパソコンの仕様によっては、認識までに最大5分程度かかる場合があります。)

+ ワイヤレス接続する場合 (Bluetooth接続モード)

- * Windows11 / OS標準のBluetooth機能を使用した場合を例に説明します
- * エクスプローラーがダークモードの状態の画面を使用しています。
- * ペアリングボタンを押すために、細い工具が必要です。事前にご用意ください。
細い工具の例: 爪楊枝、スマホのSIMスロットピン、安全ピン、小さめのゼムクリップなど

1 キーボードの準備をする *これはキーボード側の操作です

本体背面の電池カバーを開け、単4形乾電池2本を入れます。
本体背面の電源スイッチをONにします。



2 "設定"の画面を表示する *これはパソコン (OS)側の操作です

操作方法1: スタートメニューから起動する

- A. "スタート" ボタンをクリックして、スタートパネルを表示します
- B. スタートパネルにピン留めされた "設定" アイコンをクリックし "設定" 画面を開きます。

操作方法2: システムメニューから起動する

- A. "スタート"ボタンの右横の検索窓に"設定"と入力します。
- B. 表示されたシステムメニューから "設定" を選択します。



「スタート」ボタン(*Windowsマーク/タスクバー左端)

3 "Bluetoothとデバイス"の画面を表示する。 *これはパソコン (OS)側の操作です

"設定"画面の左側にあるメニューから、"Bluetoothとデバイス"をクリックします。"Bluetoothとデバイス"の画面で、"Bluetooth"が"オン"になっていることを確認します。"オフ"になっている場合は、"オン"にします。



7. キーボードの接続方法 (続き)

4 "デバイスを追加する"の画面を表示し、パソコン側のペアリングの準備をする

*これはパソコン (OS)側の操作です

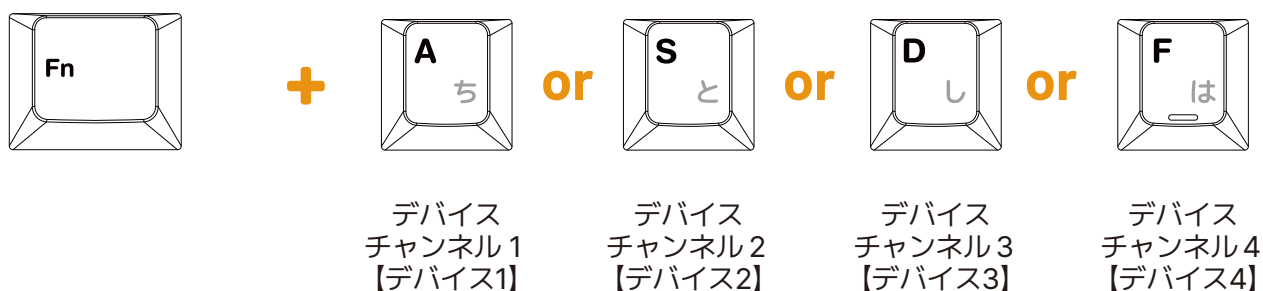
"Bluetoothとデバイス"の画面上部の "デバイスの追加"大ボタン、もしくは中のデバイスの横に表示された"デバイスの追加"中ボタンをクリックします。



5 キーボードのデバイスチャンネルを選択し、ペアリングスタンバイ状態にする

*これらはキーボード側の操作です

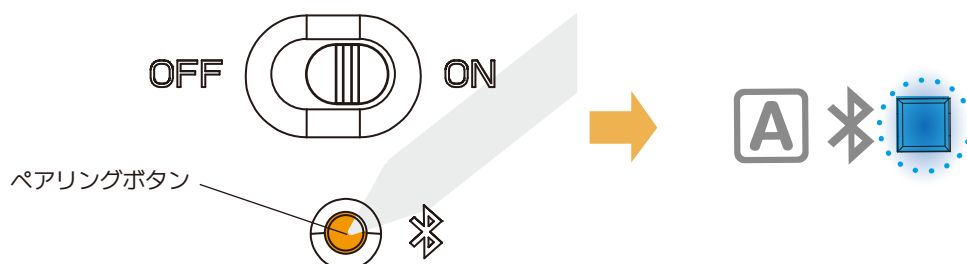
FnキーとA、S、D、F いずれかのキーと一緒に1秒程度長押しし、ペアリングしたいデバイスチャンネルを選択します。(*工場出荷時は、チャンネル1が選択されています。)



いずれかのチャンネルを選択すると、**A** ✖ 右横のLEDインジケータが青色で0.5秒間隔で2度点滅し、消灯します。



次に、隣接するペアリングボタンを細い工具などで押します。ペアリングスタンバイ状態になると、**A** ✖ 右横のインジケータが青色で、0.25秒間隔で素早く点滅し続けます。(*接続が完了するまで、最大3分間点滅します。)



7. キーボードの接続方法 (続き)

6 "デバイスを追加する"の画面で、"FC980MBT"を選択する *これはパソコン (OS)側の操作です

"デバイスを追加する"の画面に、"FC980MBT"が表示されます。

"FC980MBT"の表示をクリックし選択します。

(*パソコンがデバイス情報を読み取り終わるまで"キーボード"と表示される場合があります。)

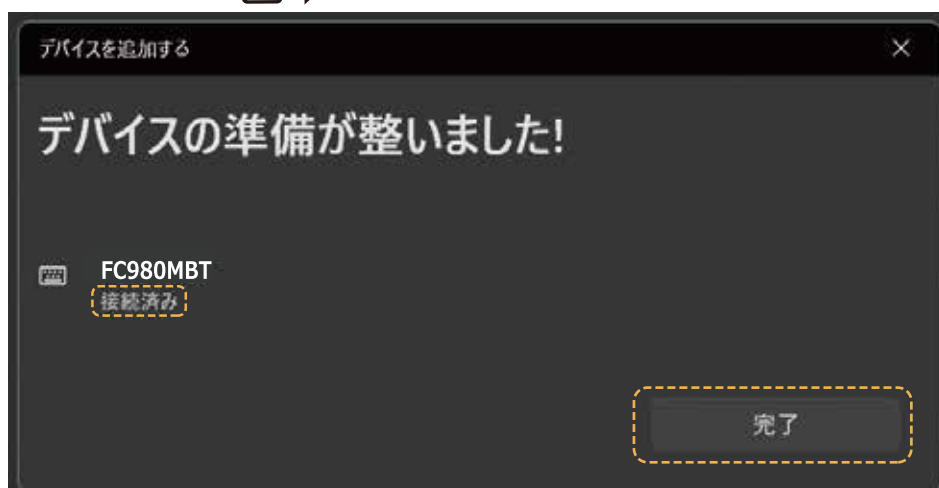


7 ペアリング→接続の完了 *これはパソコン (OS)側の操作です

"FC980MBT"の表示をクリックをします。

接続が完了すると、"デバイスの準備が整いました!"と表示され、"FC980MBT"の下の表示が"接続済み"に変わります。"完了"ボタンを押して、表示を閉じます。

FC980MBTは[A] ※ 右横のLEDインジケータが、点滅→3秒程度点灯→消灯します。



本キーボードはペアリングの際、PINコードの入力を必要としない仕様です。何度かPINコードの入力やペアリングの操作を失敗した場合など、OS側の仕様により、PINコードの入力をOS側が要求する場合があります。その場合は、16ページに記載の方法を、行なってください。

8. ペアリング情報の初期化

Fn+Tab の同時押し操作により、キーボードの各デバイスチャンネルに設定したペアリング情報を初期化することができます。(*11 ページも参照)



注意

キーボード側のペアリング情報の初期化は、OS (パソコン) 側のペアリング情報とは連動しません。OS 側でもペアリング情報の削除を必ず行ってください。

9. キーボードの省電力モードについて

電力消費を抑えるため、本キーボード自体にも省電力モード（スリープモード）機能を搭載しています。Bluetooth接続で30分以上キーボードを操作しない状態が続くと、自動で省電力モードに入ります。

キーボードを省電力モードから復帰するのは、いずれかのキーを5回以上押してください。キーボードが省電力モードから復帰（LEDインジケータ等は点灯しているetc..）しても、パソコンとの接続が復帰しない場合は、OSやホストPCの省電力設定等が原因の可能性が高いです。下記のOSやホストPCの設定をご確認ください。また、接続先のホストPCのサポートページ等をご確認ください。

< 確認事項 (Windows/パソコンの場合) >

1. デバイスマネージャーから、Bluetoothデバイスドライバのプロパティの
"電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする"
をOFFにする
2. 高速スタートアップを無効にする
3. USBセレクトティブサスペンドを無効にする
4. マザーボードのUEFIやBIOSから FASTBOOT（高速ブート）の機能をOFFにする

注意

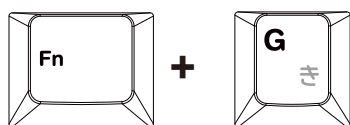
- ・ これらの機能は、OS やパソコン本体、マザーボードの機能です。
全てのホスト PC に当てはまる設定ではありません。
- ・ 各パソコンメーカー毎に仕様が異なりますので、表示されない設定がある、表示名が上記説明と異なるなどの場合があります。
- ・ 上記設定は、必ず事象を解決することをお約束するものではありません。
- ・ 特定のホスト PC で発生する場合は、そのホスト PC の特性になるため、弊社では問題解決ができません。ホスト PC の製造元にご確認ください。

Bluetooth 接続時の注意

- ① 工場出荷時は、デバイスチャンネル1が選択されています。
- ② FC980MBTとパソコンをUSB接続し、パソコンから電源供給を行えば、乾電池なしでもBluetooth機能を使用できます。* 本体背面の電源スイッチはONにします。
- ③ 電源スイッチをON状態で、USB有線モードで接続しているとき、USBケーブルを外すと、自動的にデバイスチャンネル1に接続されます。

10.USB 有線モードへの切り替え

Fn+G の同時押し操作により、Bluetooth 接続モードから USB 有線モードへ切り替えが可能です。（*11 ページも参照）



を1秒弱長押し → LED3 が青色で 0.5 秒間隔で 2 度点滅 → 消灯

12.LED インジケータの動作



1



A



↓

USB有線接続モード時の LEDインジケータ動作

LED1

LED2

LED3

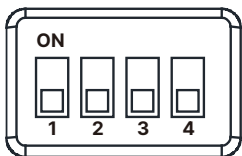
USB有線モード接続への切り替え時 (Fn+G長押し)	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 青 動作: 0.5秒間隔で2度点滅→消灯	
OSのCapsLock機能がON状態の時*1	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 緑 動作: 点灯	
OSのScrollLock機能がON状態の時*1	LED位置 : LED3 点灯/点滅色 : 緑 動作: 点灯	
OSのNumLock機能がON状態の時*1	LED位置 : LED3 点灯/点滅色 : 緑 動作: 点灯	

*1... USB有線接続モードの時のみ。Bluetoothモードでは点灯しません。

Bluetoothモード時の LEDインジケータ動作

ペアリング待機状態	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 青 動作: 0.25秒間隔で点滅 (*ペアリング→接続が確立されない時は3分で消灯)	
デバイスチャンネルの選択 (Fn+A~Fのいずれかを1秒弱長押し)	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 青 動作: 0.5秒間隔で2度点滅→消灯	
ペアリング→接続完了時	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 青 動作: 点滅が止まり、3秒点灯→消灯	
ペアリングの未完了/失敗	LED位置 : LED2 点灯/点滅色 : 青 動作: 1秒程度点灯→消灯	
キーボード側のペアリング情報を初期化する (*Fn+Tab長押し)	LED位置 : LED3 点灯/点滅色 : 赤 動作: 5秒間点灯→消灯	
乾電池の残量が少ない時 (*20%以下)	LED位置 : LED3 点灯/点滅色 : 赤 動作: 0.5秒間隔で4回以上点滅	

13.DIP スイッチの設定



キーボード本体背面に設置されたDIPスイッチのON/OFFで、各スイッチに割り当てられた機能の有効/無効を切替可能です。工場出荷時は全てOFFです。（*スイッチが下がった状態）

DIPスイッチを操作する際は、下記の手順をお守りください。

1. (乾電池駆動時) 背面の電源スイッチをOFFにしてください
(USB電源駆動時) USBケーブルをキーボードから抜いてください。
2. 爪楊枝など、先の細いものを使って、ONにしたいスイッチを引き上げてください。
3. スイッチの設定を行なった後に、パソコンに接続してください。

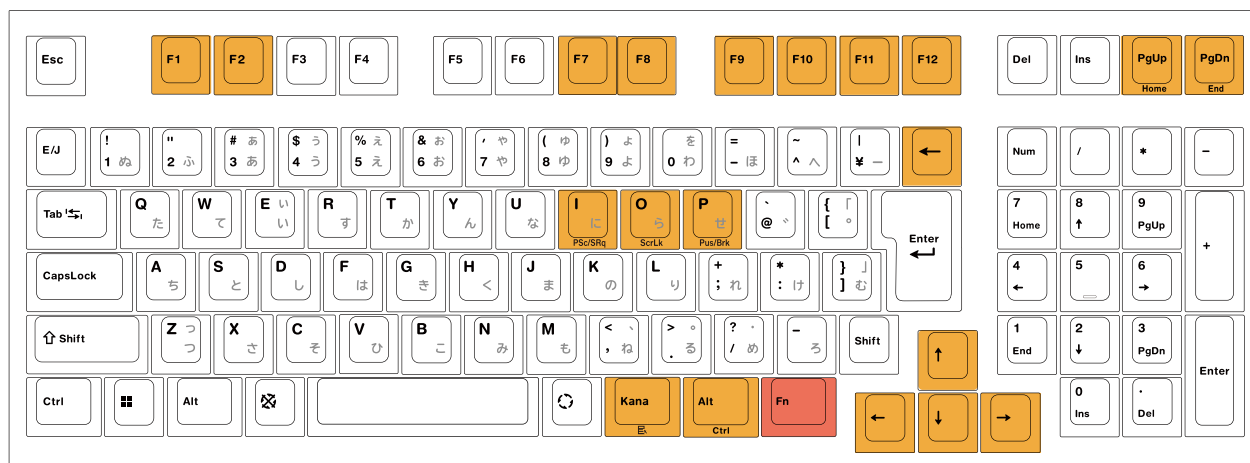
DIP 番号	対象のキー位置 / 機能	OFF 時の動作	ON 時の動作
スイッチ 1 番	左 Ctrl CapsLock	左 Ctrl CapsLock	CapsLock 左 Ctrl
スイッチ 2 番	OS 別修飾 / ホットキー等 最適化	WindowsOS	macOS
スイッチ 3 番	右 Alt キー	右 Alt キー	APP/ メニュー (⌘) キー
スイッチ 4 番	E/J (半角 / 全角) キー 左 Windows キー	有効	無効

注意

- 同時に2つ以上使用する場合は、優先順位を設けているスイッチがあります。
- ①スイッチ2番と3番を同時にON : スイッチ2番を優先 (スイッチ3番は無効)
- ②スイッチ2番と4番を同時にON : スイッチ2番を優先 (スイッチ4番は無効)

14.Fn キーとの合わせ押し / DIP2 スイッチ ON 時の動作

■ DIPスイッチ2番がOFF (WindowsOS用) の時

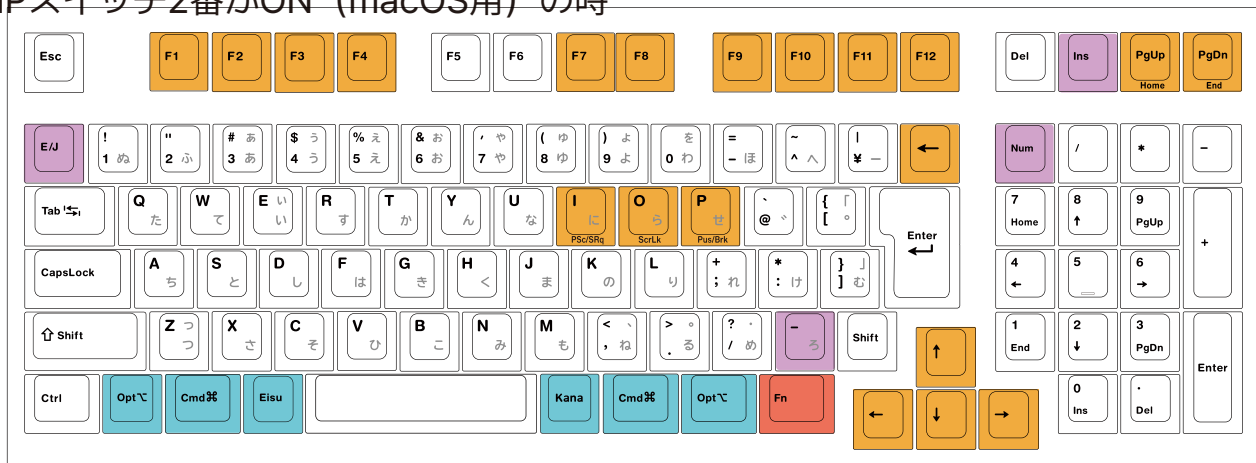


・・・ Fnキーと合わせ押しでの動作

- Fn + F1 : 内蔵ディスプレイの輝度を下げる ☹️
- Fn + F2 : 内蔵ディスプレイの輝度を上げる ☀️
- Fn + F7 : 前のトラックへ ⏮️ Fn + F8 : 再生・一時停止 ⏪
- Fn + F9 : 次のトラックへ ⏩ Fn + F10 : 音量ミュート 🔇
- Fn + F11 : 音量を下げる 🔊- Fn + F12 : 音量を上げる 🔊+
- Fn + I : PrintScreen/SysRq Fn + O : Scroll Lock Fn + P : Pause/Break
- Fn + Kana(カタカナ/ひらがな) : アプリケーション (メニュー ⌘)
- Fn + 右Alt : 右Ctrl Fn + PgUp(PageUp) : Home Fn + PgDn : End
- Fn + ↑ : PageUp Fn + ↓ : PageDown Fn + ← : Home Fn + → : End
- Fn + BackSpace (←) : Delete

14.Fn キーとの合わせ押し / DIP2 スイッチ ON 時の動作 (続き)

■ DIPスイッチ2番がON (macOS用) の時



・・・ DIPスイッチで、位置やスキャンコード割り当てが変わるキー

Fn + I : F13 Fn + O : F14 Fn + P : F15

左Windowsキー位置 : 左Option 左Altキー位置 : 左Command

無変換キー位置 : Mac英数 変換キー位置 : Macかな

カタカナ ひらがな/ローマ字 キー位置 : 右Command

右Altキー位置 : 右Option


・・・ Fnキーと合わせ押しでの動作するキー

Fn + F1 : 内蔵ディスプレイの輝度を下げる 

Fn + F2 : 内蔵ディスプレイの輝度を上げる 

Fn + F3 : Mission Control 


Fn + F4 : Launch Pad 

Fn + F7 : 前のトラックへ 

Fn + F8 : 再生・一時停止 

Fn + F9 : 次のトラックへ 

Fn + F10 : 音量ミュート 

Fn + F11 : 音量を下げる 

Fn + F12 : 音量を上げる 

Fn + BackSpace(Backward Delete) : Forward Delete

Fn + PgUp(PageUp) : Home Fn + PgDn : End

Fn + ↑ : PageUp Fn + ↓ : PageDown Fn + ← : Home Fn + → : End

・・・ macOSでは、印字と動作が異なる/変わるキー

E/Jキー位置 : ` ~ (バックオート、チルダ)

\ (バックスラッシュ) キー位置 : アンダーバー[アンダースコア]*1

Ins (Insert インサート) キー位置 : Help*2

Num (NumLock) キー位置 : Clear*3

*1 : macOSで \ (バックスラッシュ) を入力するためには、Option + ¥ キーを押下

*2 : macOSには、WindowsにおけるInsertに該当するキー動作が、使用上存在しません。

*3 : macOSには、WindowsにおけるNumLockに該当するキー動作が、使用上存在しません。

15. 製品仕様

モデル名	FC980MBT 日本語JIS配列モデル
キー配列	日本語JIS配列
キー数	102キー
キーキャップ仕様	PBT 2色成形 (ダブルショット)
搭載キースイッチ	CHEERY製 MX2Aスイッチ
キーピッチ	約19mm
キースイッチホットスワップ	対応
Bluetooth規格	Bluetooth5.1 Class2
Bluetooth対応プロファイル	HID
通信方式	GFSK
電波周波数	2.4GHz
動作可能距離	10m(Bluetooth接続時・遮蔽物なき事)
USBポートタイプ	USB-C
電源	USBバスパワー [USB接続/Bluetooth接続] アルカリ単4電池 2本 [Bluetooth接続]
連続使用時間	約300時間 (*単4電池駆動時)
キーロールオーバー	6+1キー
対応OS	Windows11、Windows10、macOS(*DIP2ON時)
動作環境	10°C~45°C
本体寸法	約386mm x 145mm x 28~39mm(*キーキャップ含む)
本体重量	約1.16g(*電池/ケーブルは含まない)

16. 製品サポートについて

製品に関するご質問や修理の依頼のお問い合わせは、当社ホームページのサポート専用お問い合わせフォームより承っております。（*お電話での対応は行っておりません）
お問合せ頂く前に、当社ホームページのFAQや取扱説明書を予めご確認ください。

■サポート専用お問い合わせフォーム

トップページ > カスタマーサポート > 修理のご依頼

<https://leopold.co.jp/customer-support/repair-request/>



17. 製品 FAQ について

当社ホームページに、製品に関する質問や使い方などの、“よくある質問”を記載したFAQページを用意しております。

■よくある質問ページURL

トップページ > カスタマーサポート > よくある質問

<https://leopold.co.jp/customer-support/faqlist/>



18. 保証規定について

製品の保証規定に関しては、製品箱に同封の製品保証書および当社ホームページの保証規定記載ページをご確認ください。

■ サポート専用問い合わせフォーム

トップページ > カスタマーサポート > 保証規定

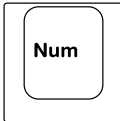
<https://leopold.co.jp/customer-support/warranty-policy/>



レオポルド
LEOPOLD 株式会社
<https://www.leopold.co.jp>

付録

一部キーの名称 (* WindowsOS)

	... 半角/全角 (漢字) キー		... PageUpキー
	... 無変換キー		... PageDownキー
	... 変換キー		... Insertキー
	... カタカナ ひらがな/ローマ字 キー (macOSではmacかなキー位置に取り付けて使用)		... Deleteキー
	... BackSpaceキー (macOSではBackward Delete)		... NumLockキー
	... PSc/SRq = Print Screen (System Request)キー		
	... ScrLk = Screen Lockキー		
	... Pus/Brk = Pause/Break キー		

OS側からPINコードの入力を要求される場合

本キーボードはペアリングの際、PINコードの入力を必要としない仕様ですが、何度かPINコードの入力やペアリングの操作を失敗した場合など、OS側の仕様により、PINコードの入力をOS側が要求する場合があります。その場合の対処法は下記の通りです。（マイクロソフトのサポートページにも記載ございます。）

●WindowsOSでの対処方法

“デバイスを追加する”の画面で、Bluetoothキーボードの登録を行う際に、OS側から自動PINコード生成→ポップアップ表示がされず、「PINを入力してください。」と画面が表示された場合は下記の操作が必要です。

お客様側で 任意の4桁～8桁の暗証番号 を決めていただく必要があります。

(*FC980RBT側には所定のPINコード、PINコードの発行機能はありません。この手順はOSの仕様です。)

(操作)

- ①PC(OS)側にお客様が任意で選んだ4桁～8桁の数字(例 0000 ,1111 など) を空白の入力欄に入力し、“接続”ボタンを押す
- ②同じ暗証番号を、接続したいBluetoothキーボード (FC980RBT本体側)で入力し、キーボードのENTERキーを押す
- ③Bluetooth登録が完了する

[注意]

①お客様が任意で選んだ4桁～8桁の数字入力するためには、登録・接続したいBluetoothキーボード以外のキーボードが必要です

- ・デスクトップパソコンの場合: 外付けの有線キーボード または OSのオンスクリーンキーボード
- ・ノートパソコンの場合: 内蔵のキーボード または OSのオンスクリーンキーボード

●スクリーンキーボードの表示方法

OSの[スタート]をクリック

アプリの一覧から[Windows簡単操作]>[スクリーンキーボード]の順にクリック

②上記作業は、「PINを入力してください。」と画面に表示されてから、1分以上経過すると、タイムアウトしやり直しになってしまいます。

事前にPINの数字をお客様で決めてから作業を行ってください。